

# 令和6年度シラバス

教科	科目	単位数	履修学年・クラス
地歴公民	日本史探究	1	3-A (文系)

## 1. 学習の到達目標

<ol style="list-style-type: none"> <li>歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史について理解をはかる。</li> <li>諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を養う。</li> <li>グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を養う。</li> <li>歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想する力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論する力を養う。</li> </ol>
---

## 2. 学習の計画

	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
1 学期	第Ⅱ部 中世 第7章 武家社会の成長  第Ⅲ部 近世 第8章 近世の幕開け	<ul style="list-style-type: none"> <li>公家や武家、庶民などの文化の形成や融合を踏まえて、室町期の文化的な特色について考察する。</li> <li>応仁の乱以降、地域権力として成長した戦国大名や、各地で発展した都市と、産業や流通の成長や、自治的に都市を運営した人々の活動について、諸地域の地理的条件などと関連付けて考察する。</li> <li>織田信長の統一事業、豊臣秀吉の天下統一の過程を把握し、織豊政権の特色とその後の時代への影響について考察する。</li> </ul>
2 学期	第Ⅱ部 第9章 幕藩体制の成立と展開 第10章 幕藩体制の動揺  第Ⅲ部 近世 第11章 近世から近代へ 第12章 近代国家の成立 第13章 近代国家の展開と国際関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>幕藩体制の確立期の社会を、身分制の仕組みや村落・都市支配の観点から、多面的・多角的に考察する。</li> <li>三大改革の諸政策とその影響を考察する。</li> <li>討幕運動と尊王攘夷、江戸幕府滅亡、新政府の発足に至る過程を理解し、どのような国家が構想されたかを考察する。</li> <li>明治維新の諸政策、特に廃藩置県・地租改正・富国強兵・殖産興業政策を通して、日本の近代化の特徴について考察する。</li> <li>日清戦争、日露戦争、第一次世界大戦へと続き、日本が軍国体制に向かう流れを考察する。</li> </ul>
3 学期	第14章 近代の産業と生活 第15章 恐慌と第二次世界大戦	<ul style="list-style-type: none"> <li>日清・日露戦争前後にかけて資本主義国家の基礎が確立された過程を、産業革命や近代損業の発展に着目して考察する。</li> <li>日中戦争から太平洋戦争に至る過程や戦争の長期化について、国民生活の変化や諸島性に着目して、全体主義的な国家体制が進展していく経過を考察する。</li> </ul>

## 3. 評価方法・評価の観点

評価方法	定期考査（中間・期末）、提出物を含む授業に対する取り組み全体をを加味して評価する。
------	---

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の内容	歴史の変化に関わる諸事象について、世界の中の日本を相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解し、歴史の様々な情報を適切、効果的に調べまとめる技能を身に付ける。	歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察する。	歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解する態度を身に付ける。

## 4. 使用教科書・副教材

使用教科書	日本史探究 高校日本史 (山川出版社)
副教材	日本史探究 高校日本史ノート (山川出版社)